

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

科目名	建築安全・情報先端演習
英文名	Advanced Practice on Architectural Safety and Computing Division
学部学科	先端科学技術研究科 建築・建設環境工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	今川 憲英

目的概要	建築の安全を左右する原点は、設計行為の集大成である設計図書と、完成した建築の施工結果の質の確保とその再確認にある。本科目は、研究テーマの遂行に必要となるデザイン認識とデザインレビューを、社会に対する明解な情報として発信できる能力を習熟することを目標とする。具体的には、地震国であれ地震が少ない国であれ、その自然条件等も含めた上で、世界的な文化遺産建築や構造体、そして近代の世界的なモニュメンタルな建築を例とし、建築が安全かつ長寿命であるまたは短命であるという情報の発信能力を習得する。
教科書名	・－JOINTS－建設ジャーナル 2010年10月号より (株式会社KJ)
参考書名	・TIMBER COMPANION【木による空間構造へのアプローチ】(建築技術) ・ドーム構造の技術レビュー【事例をとおして最新構造設計技術をみる】(日本建築学会) ・建築デザイン用語辞典(井上書院)
評価方法	研究テーマに関する演習課題の提出とデザインレビュー能力の習熟度を総合的に判定する。
テーマ・内容	本演習は以下のような項目から構成される。 1)建築の5大素材(石・レンガ・木・スチール・RC)の性質と性能を把握し、各素材の単位体積当りの仕事を比較する。 2)建築の20種類の基本架構の性質・性能を妨げない、5大素材が構成する架構を比較及びレビューする。 3)20種類の基本的な空間の荷重抵抗システムを把握及びレビューする。 4)5大素材の単位体積当りの仕事を基にして、建築空間の寿命についてレビューする。
E-Mail address	nori@cck.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	建築を世界的前例としてデザインし、実現したいという意思を持ち、実行できる人を望む!!